



平成24年3月期 第3四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成24年2月8日

上場会社名 株式会社チノー
コード番号 6850

上場取引所 東
URL <http://www.chino.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荻谷 嵩夫

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理 本部長兼社長室長 (氏名) 斉藤 卿是

TEL (03) 3956-2115

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|-------|------|-------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 13,088 | 17.4 | 634 | 115.1 | 620 | 165.4 | 213 | — |
| 23年3月期第3四半期 | 11,150 | 22.9 | 294 | — | 233 | — | △16 | — |

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 138百万円 (-%) 23年3月期第3四半期 △132百万円 (-%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | |
|-------------|-----------------|----|----------------------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 24年3月期第3四半期 | 4 | 97 | — | — |
| 23年3月期第3四半期 | △0 | 38 | — | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|--------|--|--------|--|--------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | |
| 24年3月期第3四半期 | 20,152 | | 13,435 | | 63.9 | |
| 23年3月期 | 20,527 | | 13,541 | | 62.7 | |

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 12,869百万円 23年3月期 12,872百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | | | | | |
|-------------|--------|---|--------|----|--------|---|----|----|----|----|
| | 第1四半期末 | | 第2四半期末 | | 第3四半期末 | | 期末 | | 合計 | |
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 23年3月期 | — | | 0 | 00 | — | | 5 | 00 | 5 | 00 |
| 24年3月期 | — | | 0 | 00 | — | | | | | |
| 24年3月期 (予想) | | | | | | | 7 | 00 | 7 | 00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|----------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 通期 | 17,800 | 8.7 | 1,030 | 33.1 | 1,000 | 39.4 | 460 | 34.0 | 10 | 71 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社 除外 1社（社名 東京精工株式会社）

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（その他に関する事項 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（その他）に関する事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理を適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 有
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 24年3月期3Q | 47,800,580株 | 23年3月期 | 47,800,580株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期3Q | 4,870,641株 | 23年3月期 | 4,863,472株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 24年3月期3Q | 42,933,101株 | 23年3月期3Q | 42,953,111株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (4) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (4) セグメント情報等 | 8 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |
| (6) 重要な後発事象 | 9 |
| 4. 補足情報 | 10 |
| (1) 生産実績 | 10 |
| (2) 受注実績 | 10 |
| (3) 販売実績 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災及び原発被災による被害拡大の影響がありましたものの、サプライチェーンの早期復旧や電力不足の克服で生産活動や個人消費に持ち直しの動きが見られました。しかしながら、企業の設備投資は抑制傾向が続き、また、タイの洪水の影響や欧州の債務危機による海外経済の減速で円高が常態化して外需も伸び悩むなど厳しい状況が続きました。

このような経営環境のなかで当社は新たな中期経営計画をスタートさせ、当年度を当企業グループを高収益企業にする基盤整備の年と位置づけて積極的な施策を推進してまいりました。

グループ会社、生産拠点、生産設備を含めたチノーグループとして全体最適の効率の良い体制を築くべく、久喜事業所からの移転で全計装が集結した藤岡事業所に計装工場を増床、第3四半期から本格稼働しました。また、久喜事業所においては温度センサの一貫生産ラインを構築し、生産能力の増強を図りました。一方、子会社については東京精工株式会社を10月1日付で当社に合併し、放射温度計を中核とする商品分野において、技術開発や販売面のシナジーを高めるとともに、主として民生機器関連の生産拠点でありました㈱山形チノーを24年4月1日付で合併し、当社と経営基盤を共通にすることにより連携を強化して、新エネルギー、環境、安全・安心といった分野の新市場開拓の中核的事業所とすることを決定して、統合を推進しました。

当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は13,088百万円(前年同四半期比17.4%増)となりました。利益面につきましては営業利益は634百万円(前年同四半期比115.1%増)、経常利益は620百万円(前年同四半期比165.4%増)、四半期純利益は213百万円(前年同四半期は四半期純損失16百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①計測制御機器

売上高は4,997百万円(前年同期比12.1%増)、セグメント利益(営業利益)は887百万円(前年同期比21.0%増)であります。

②計装システム

売上高は4,403百万円(前年同期比29.2%増)、セグメント利益(営業利益)は382百万円(前年同期比92.6%増)であります。

③センサ

売上高は2,998百万円(前年同期比15.1%増)、セグメント利益(営業利益)は411百万円(前年同期比23.2%増)であります。

④その他

修理・サービス等の売上高は688万円(前年同期比1.3%増)で、セグメント利益(営業利益)は102百万円(前年同期比69.4%増)であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ320百万円減少し、13,641百万円となりました。主な増減は、たな卸資産の増加519百万円、受取手形及び売掛金の減少402百万円、有価証券の減少999百万円であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ54百万円減少し、6,511百万円となりました。このうち有形固定資産は減価償却費の計上等により20百万円減となりました。投資その他の資産は投資有価証券の増加24百万円がありました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ182百万円減少し、4,766百万円となりました。主な減少要因は支払手形及び買掛金の減少258百万円等であります。

固定負債は、退職給付引当金等の減少があり前連結会計年度末に比べ87百万円減少し1,950百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ105百万円減少し、13,435百万円となりました。剰余金の配当214百万円による減少等の結果であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績見通しにつきましては、平成23年11月9日に公表いたしました業績予想通りであります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

東京精工株式会社は平成23年10月1日付で当社を存続会社とした吸収合併により、当第3四半期連結会計期間から連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社における、材料の評価方法は、従来、先入先出法によっておりましたが、当連結会計年度より移動平均法に変更しております。これは、生産管理システムの見直しを契機に、リアルタイムで原価管理を実施、また価格変動による損益計算書への影響を平準化することにより、より適正なたな卸資産の評価及び期間損益の計算を行うことが目的であります。

当該会計方針の変更は、前連結会計年度まで材料の評価方法について先入先出法を採用しており、システムで保存している単価記録は順次更新され移動平均法による単価情報の入手は実務上不可能なため、前連結会計年度末の材料の帳簿価額を当連結会計年度の期首残高として、期首から将来にわたり移動平均法を適用しております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなり、それ以降に解消が見込まれる一時差異等について、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率が変更されました。この結果、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は 37,429千円減少し、法人税等は31,076千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,746,216 | 4,221,683 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,344,620 | 4,942,601 |
| 有価証券 | 1,098,794 | 99,560 |
| 商品及び製品 | 976,145 | 1,113,922 |
| 仕掛品 | 886,986 | 933,367 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,293,842 | 1,629,391 |
| その他 | 624,302 | 708,847 |
| 貸倒引当金 | △8,638 | △7,938 |
| 流動資産合計 | 13,962,269 | 13,641,435 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 3,557,087 | 3,536,166 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 265,905 | 227,501 |
| その他 | 316,153 | 319,607 |
| 無形固定資産合計 | 582,058 | 547,109 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 2,426,582 | 2,428,022 |
| 貸倒引当金 | △1 | △1 |
| 投資その他の資産合計 | 2,426,581 | 2,428,021 |
| 固定資産合計 | 6,565,726 | 6,511,296 |
| 資産合計 | 20,527,996 | 20,152,732 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,113,236 | 2,854,933 |
| 短期借入金 | 759,209 | 683,338 |
| 未払法人税等 | 158,177 | 201,375 |
| 賞与引当金 | 304,996 | 179,769 |
| その他 | 613,813 | 847,095 |
| 流動負債合計 | 4,949,433 | 4,766,511 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 1,490,073 | 1,421,016 |
| 役員退職慰労引当金 | 170,399 | 188,600 |
| その他 | 376,919 | 340,618 |
| 固定負債合計 | 2,037,392 | 1,950,236 |
| 負債合計 | 6,986,826 | 6,716,748 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,292,027 | 4,292,027 |
| 資本剰余金 | 4,072,140 | 4,072,140 |
| 利益剰余金 | 6,285,935 | 6,279,989 |
| 自己株式 | △1,456,307 | △1,457,875 |
| 株主資本合計 | 13,193,796 | 13,186,282 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △56,452 | △87,055 |
| 為替換算調整勘定 | △265,221 | △229,676 |
| その他の包括利益累計額合計 | △321,673 | △316,731 |
| 少数株主持分 | 669,047 | 566,433 |
| 純資産合計 | 13,541,170 | 13,435,984 |
| 負債純資産合計 | 20,527,996 | 20,152,732 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|-------------------|--|--|
| 売上高 | 11,150,396 | 13,088,628 |
| 売上原価 | 7,573,770 | 8,848,198 |
| 売上総利益 | 3,576,625 | 4,240,430 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料手当及び賞与 | 1,496,315 | 1,566,625 |
| 賞与引当金繰入額 | 80,339 | 97,442 |
| 退職給付費用 | 110,545 | 104,123 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 25,279 | 40,968 |
| 研究開発費 | 228,734 | 366,371 |
| 貸倒引当金繰入額 | 27 | 855 |
| その他 | 1,340,575 | 1,430,001 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 3,281,817 | 3,606,388 |
| 営業利益 | 294,808 | 634,042 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 20,468 | 27,699 |
| 受取配当金 | 15,062 | 18,464 |
| その他 | 35,736 | 43,328 |
| 営業外収益合計 | 71,268 | 89,492 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9,750 | 8,023 |
| 為替差損 | 72,874 | 57,350 |
| その他 | 49,839 | 38,093 |
| 営業外費用合計 | 132,465 | 103,468 |
| 経常利益 | 233,611 | 620,065 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券償還益 | — | 7,636 |
| その他 | 4,453 | 881 |
| 特別利益合計 | 4,453 | 8,517 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 6,268 | 74,794 |
| 退職給付制度終了損 | — | 27,592 |
| その他 | 111,592 | 12,640 |
| 特別損失合計 | 117,860 | 115,026 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 120,204 | 513,556 |
| 法人税等 | 113,876 | 243,216 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 6,328 | 270,340 |
| 少数株主利益 | 22,777 | 56,792 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △16,449 | 213,547 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 6,328 | 270,340 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,566 | △30,602 |
| 為替換算調整勘定 | △147,403 | △100,903 |
| その他の包括利益合計 | △138,837 | △131,506 |
| 四半期包括利益 | △132,508 | 138,833 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △155,286 | 218,490 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 22,777 | △79,656 |

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|-------------|-------------|-----------|------------|------------|------------|
| | 計測制御 機 器 | 計 装 システム | センサ | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,458,574 | 3,407,406 | 2,604,471 | 10,470,451 | 679,945 | 11,150,396 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 4,458,574 | 3,407,406 | 2,604,471 | 10,470,451 | 679,945 | 11,150,396 |
| セグメント利益 | 733,218 | 198,575 | 334,140 | 1,265,933 | 60,588 | 1,326,522 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおりま
す。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|--------------------|------------|
| 報告セグメント計 | 1,265,933 |
| 「その他」の区分の利益 | 60,588 |
| 全社費用(注) | △1,031,714 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失(△) | 294,808 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|-------------|-------------------------|-----------|------------|------------|------------|
| | 計測制御 機 器 | 計 装 シ ス テ ム | センサ | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,997,266 | 4,403,997 | 2,998,881 | 12,400,144 | 688,484 | 13,088,628 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 4,997,266 | 4,403,997 | 2,998,881 | 12,400,144 | 688,484 | 13,088,628 |
| セグメント利益 | 887,084 | 382,465 | 411,682 | 1,681,231 | 102,636 | 1,783,870 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|------------|
| 報告セグメント計 | 1,681,231 |
| 「その他」の区分の利益 | 102,636 |
| 全社費用(注) | △1,149,828 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 634,042 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 金額(千円) | 前年同四半期比(%) |
|----------|------------|------------|
| 計測制御機器 | 5,369,030 | +12.7 |
| 計装システム | 3,588,871 | +49.5 |
| センサ | 2,628,527 | +13.7 |
| その他 | 256,063 | +7.2 |
| 合計 | 11,842,491 | +21.9 |

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 金額は、見込販売価額で示してあります。
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 受注高(千円) | 前年同四半期比(%) | 受注残高(千円) | 前年同四半期比(%) |
|----------|------------|------------|-----------|------------|
| 計測制御機器 | 4,986,548 | +9.0 | 604,243 | +1.5 |
| 計装システム | 4,676,551 | △1.2 | 2,114,955 | △13.4 |
| センサ | 3,036,020 | +5.5 | 492,461 | △11.9 |
| その他 | 675,052 | △2.2 | 82,433 | △6.6 |
| 合計 | 13,374,171 | +3.9 | 3,294,092 | △10.6 |

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 金額(千円) | 前年同四半期比(%) |
|----------|------------|------------|
| 計測制御機器 | 4,997,266 | +12.1 |
| 計装システム | 4,403,997 | +29.2 |
| センサ | 2,998,881 | +15.1 |
| その他 | 688,484 | +1.3 |
| 合計 | 13,088,628 | +17.4 |

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。